

〔曲名〕 Principessa Maria Pia di Savoia ninna-nanna

サヴォイアの MARIA・ピア王女

〔曲種〕

〔作曲者〕 G.Manente

ジュゼッペ マネンテ

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

MARIA・ピア王女は第二次世界大戦により退位したヴィットリオ・エマヌエル三世の孫娘に当り、1934年9月24日にピエモンテ皇子の長女として生まれた。

マネンテは早速本曲を作曲、恭(うやうや)しく献曲し、翌35年ミラノのイル・プレットロから出版した。

作者はMARIA・ピア王女の両親つまりピエモンテ皇子とベルギー王アルベルト一世の娘MARIA・ホゼの華燭の典に際しても

「恵まれた結婚」(本百曲選第11号所載)を作曲献曲している。

作品434番の子守唄でマンドリン合奏のオリジナル作品。

サヴォイア家はイタリア北部の由緒ある名家で十九世紀後期から栄えたイタリア・マンドリン音楽との関係は深いものがある。

マネンテにはこの外にもマンドリン音楽の為の子守唄があるが(作品139番)この方が遥かに洗練されている。

1971年6月10日発行

イタリアマンドリン百曲選第12集より